

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	22	学校名	仙台市立七郷小学校	校長名	三浦 潤子
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「七郷の豊かな自然と緑を大切にする児童の育成」



2 取組の紹介

(1) 生活科や総合的な学習の時間での取組

2年生は、学年園で4種類の野菜を育て、生育を観察するとともに家庭に持ち帰りました。また、若林区中央市民センターや明成高校、八木山動物公園と連携しながら、「カボチャプロジェクト」に取り組みました。ゾウの糞で作ったたい肥を用いてカボチャを育て、ゾウにカボチャをプレゼントする活動です。食物のサイクルについて学んだことを、学習発表会の内容として取り入れ、七郷の人々に発表しました。さらに、カボチャを収穫した後は、家庭に持ち帰ったり給食で食べたりし、「美味しかった。」「カボチャが食べられるようになった。」という感想をもつ児童が多く見られました。自分たちで世話をし、食物を育てるやりがいを感じることができ、自然への関心を高める取組となりました。



5年生は、「おらほの田んぼ」をテーマに、田植え、稲刈り、農業施設見学をしました。5年生の社会科の学習でJ A仙台青年部に昨年教えていただいた、農薬を使用しない栽培方法や水の管理の仕方、環境への配慮について学び、実際にもう一度田植えや稲刈りを体験しました。学校田にも稲を植え、毎日成長の様子を観察し、稲の成長を喜ぶ姿が見られました。また、収穫した米を家庭に持ち帰って味わいました。改めて七郷地区が自然に恵まれていることを実感し、未来へつなげていきたいという思いを持ちました。

(2) 緑化委員会の取組

「小さな種から大きな花へ」をテーマに活動しました。花や緑の世話をしたいという意欲にあふれた児童が集まっています。5月と8月に夏花壇、冬花壇用の種まきをし、5月は、マリーゴールド、サルビア、ヒマワリなど9種類、8月は葉ボタン、パンジーなど8種類の種をまきました。2度の植え替えの後、自分たちで花壇に植えた苗が成長し、やがて咲いた花を見たときの感激はひとしおのようでした。また、校庭の木について調べ、木の名前が分かるように植物の名札を作成し、親しみをもって花や植物の世話をするようになりました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

様々な体験や活動を通して、児童の環境や自然への関心が高まっています。生活科や総合的な学習ともつなげながら、自分たちの手で食物や植物を育てることで、身近な七郷の自然を大切にしたいという気持ちが強くなりました。これからも、七郷の豊かな自然や緑を大切にし、「自分にできることは何か」を考えて、様々なことを実践する児童を育てていきたいと思っています。